

糖尿病 用語辞典

No.11

知っておくと役立つ、 糖尿病治療の関連用語

1. 一次予防、二次予防、
三次予防
2. インスリン依存状態
インスリン非依存状態
3. インスリン分泌
4. 境界型
5. グルカゴン
6. ケトアシドーシス、ケトン体
7. 膵島、ランゲルハンス島
8. β 細胞
9. 糖代謝
10. 糖毒性
11. 内臓脂肪型肥満
12. 75g経口ブドウ糖負荷試験
13. 分食

1. 一次予防、二次予防、三次予防

糖尿病の一次予防：糖尿病の発病を防ぐ

必要なこと：生活習慣をチェックし、乱れがあれば改める

糖尿病の二次予防：糖尿病の合併症を防ぐ

必要なこと：生活習慣の改善

+

血糖コントロール

糖尿病の三次予防：糖尿病の合併症の悪化を防ぐ

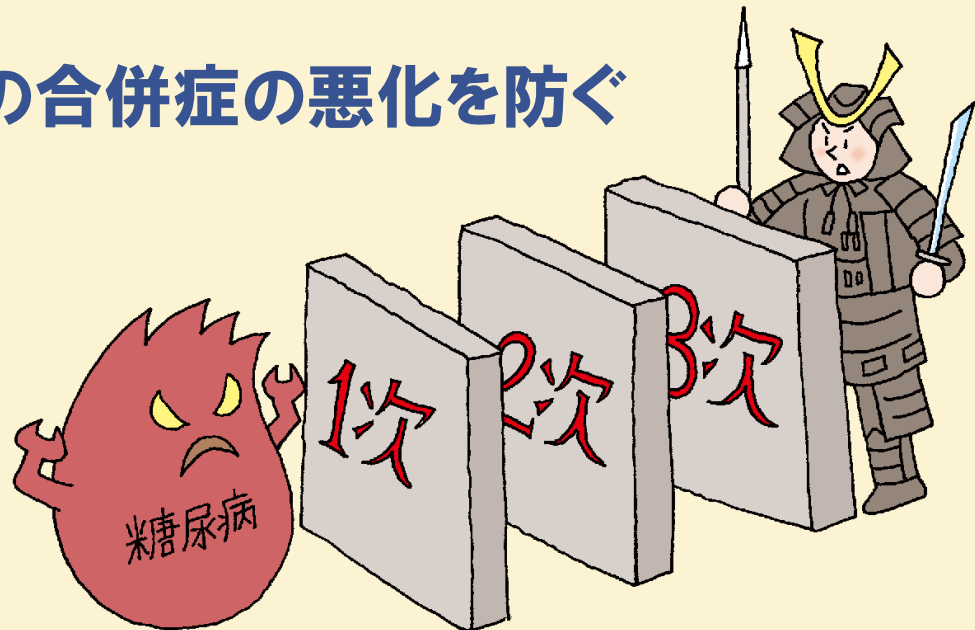
必要なこと：生活習慣の改善

+

血糖コントロール

+

合併症の治療



2. インスリン依存状態、インスリン非依存状態

病態 (病期) 成 因 (機序)	正常血糖	高血糖			
	正常 領域	境界 領域	糖尿病領域		
			インスリン 不要	高血糖是正に インスリンが必要	インスリン依存状態 生存に インスリンが必要
1型糖尿病					
2型糖尿病					
その他特殊の型 や二次性糖尿病					

- ・右向きの矢印は糖代謝の悪化、左向きの矢印は糖代謝の改善を表しています
- ・破線部分は、その状態となることが少ないことを表しています

インスリン依存状態:

生命の維持のために、インスリン注射が欠かせない状態

インスリン非依存状態:

生命の維持のために、インスリン療法が必要ではない状態

血糖コントロールのためにインスリン療法が必要なこともある

3. インスリン分泌

インスリンの働き:

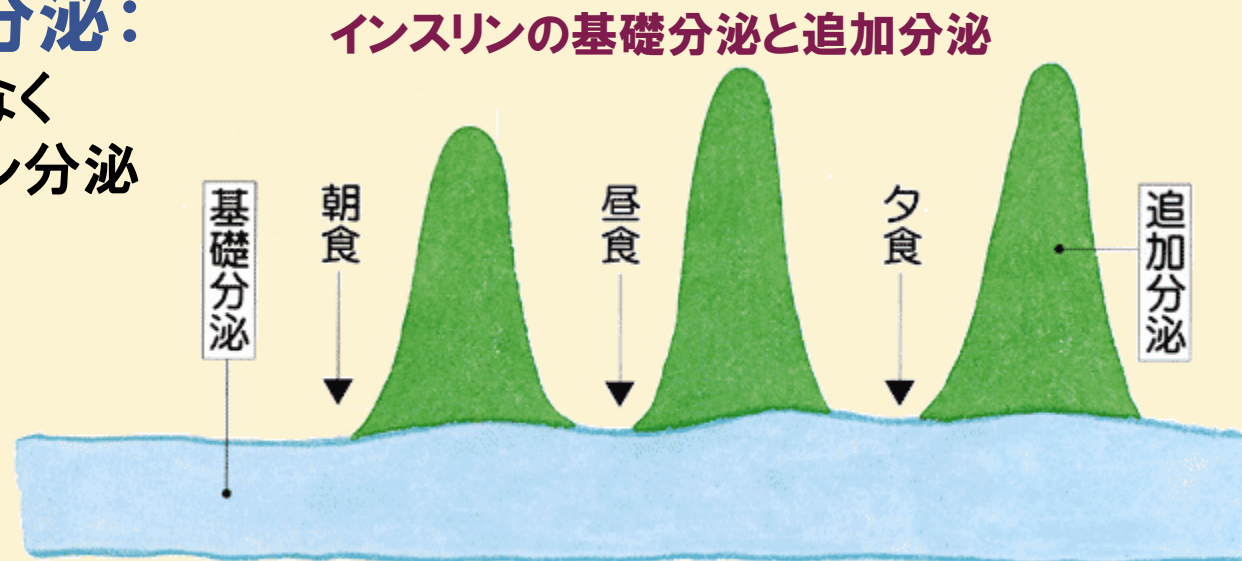
血液中のブドウ糖「血糖」を、全身の細胞に取り込んだり、肝臓から血糖が放出されるのを抑制して、血糖値を下げる

インスリンの追加分泌:

食事などによって血糖値が高くなったときに応答するインスリン分泌

インスリンの基礎分泌:

血糖値の変動に関係なく行われているインスリン分泌



4. 境界型

病態 (病期)	正常血糖	高血糖		
	正常領域	境界領域	糖尿病領域	
インスリン非依存状態 インスリン不要			インスリン依存状態 生存にインスリンが必要	
1型糖尿病	←	→	→	→
2型糖尿病	←	→	→	→
その他特殊の型 や二次性糖尿病	←	→	→	→

境界型は、正常でも糖尿病でもない状態「糖尿病予備群」

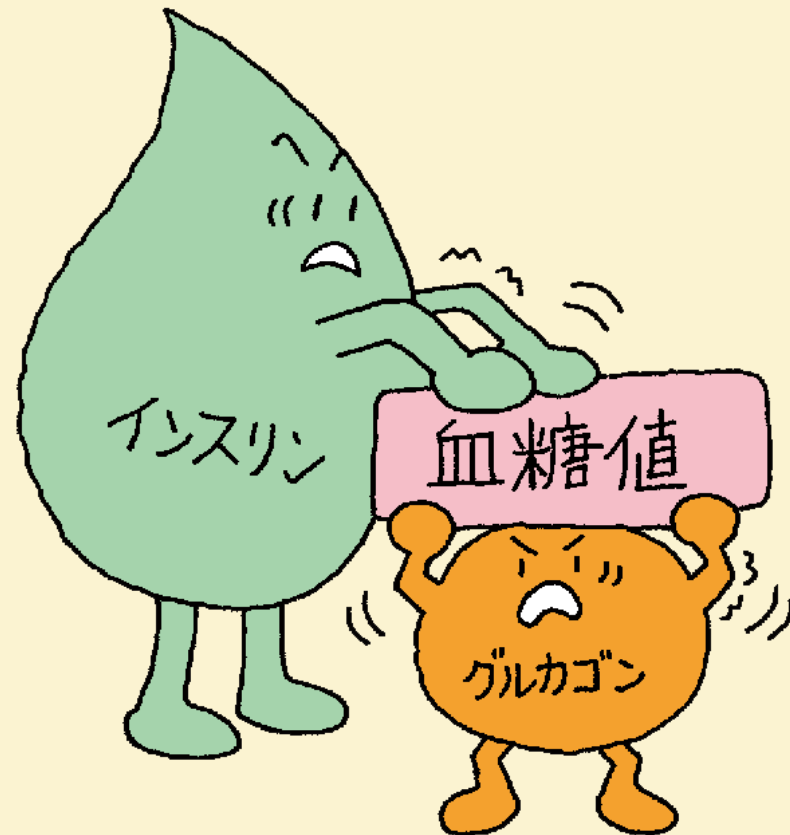
境界型の二つの注意点

- 糖尿病を発病しやすい
- 動脈硬化が進みやすい

・右向きの矢印は糖代謝の悪化、左向きの矢印は糖代謝の改善を表しています
 ・破線部分は、その状態となることが少ないことを表しています

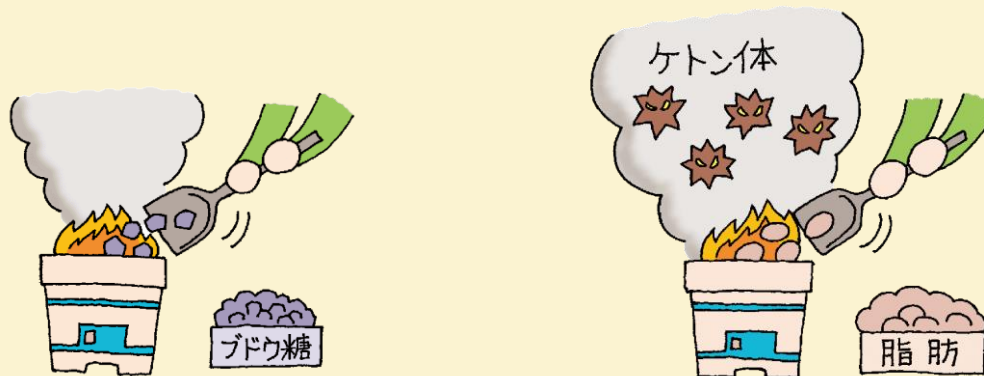
5. グルカゴン

グルカゴンは、インスリンと反対の働きをもち
血糖値を上昇させるホルモン



6. ケトアシドーシス、ケトン体

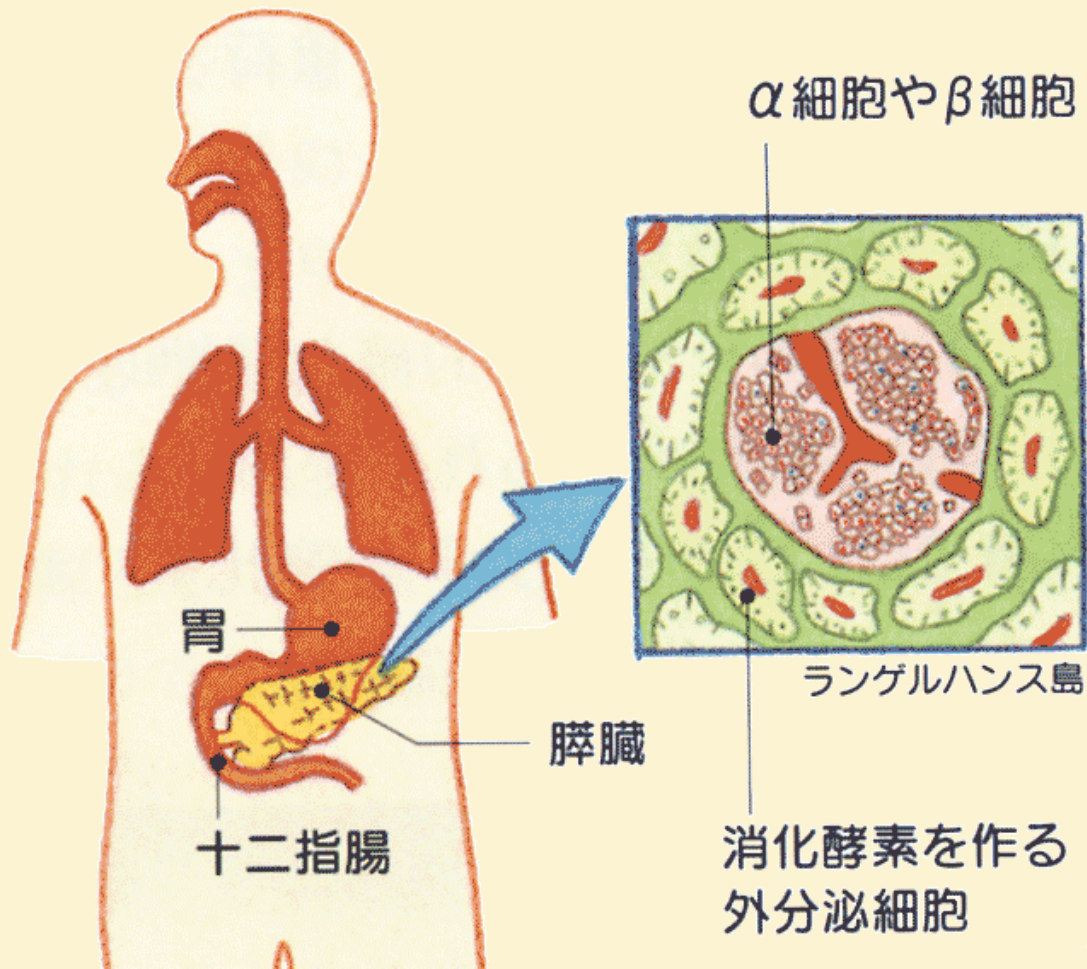
- ケトン体は、インスリンの作用が足りないときブドウ糖(血糖)のかわりに脂肪がエネルギー源として利用されたときに発生する、有害物質



- ケトン体が増え過ぎると、ケトーシスになり、そしてケトアシドーシスになる
- ケトアシドーシスは、糖尿病の「急性合併症」。命にかかわることもある
- インスリン治療中に、インスリン注射を中止するのは非常に危険

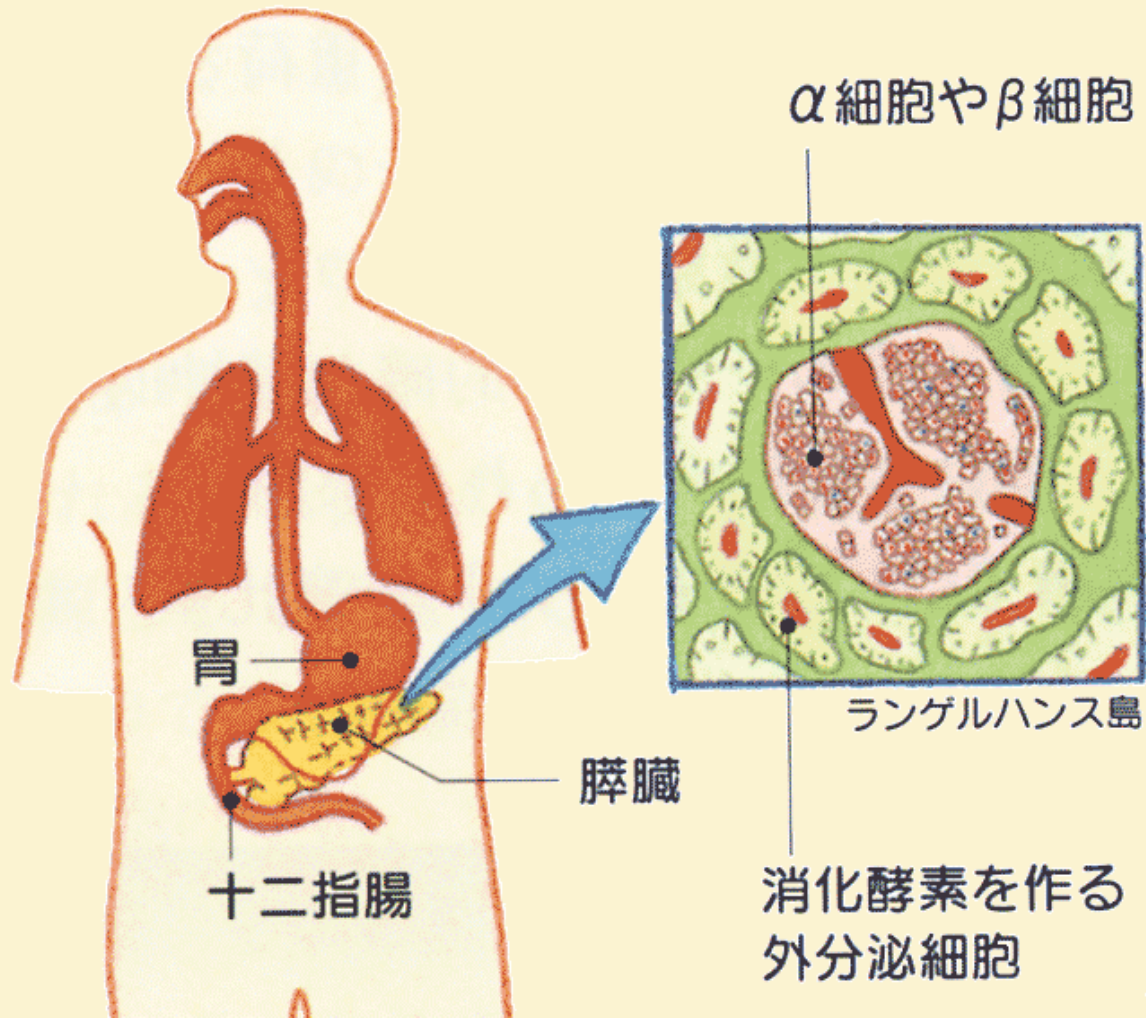
7. 膵島、ランゲルハンス島

顕微鏡で膵臓をみると、インスリンやグルカゴンを分泌する細胞が集まって島のように見えるところ
＝ 膵島(ランゲルハンス島)



8. β 細胞

膵臓のランゲルハンス島(膵島)にある、インスリンを作り出す細胞



9. 糖代謝

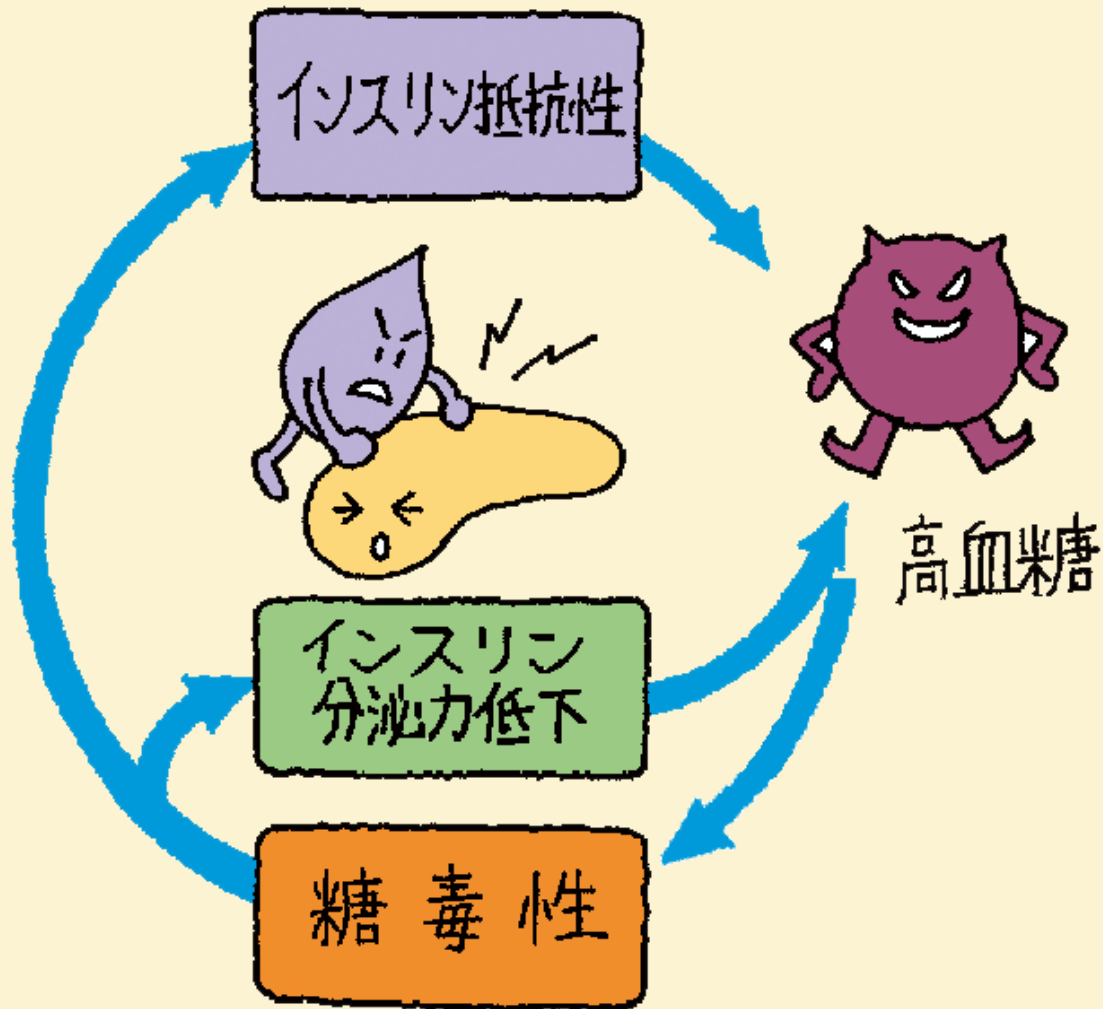
糖代謝とは、体の中に入った「糖」が、利用されたり、貯蓄されたりする流れのこと

インスリンは、糖代謝をコントロールする重要なホルモン



10. 糖毒性

高血糖が高血糖を呼ぶ悪循環＝糖毒性



11. 内臓脂肪型肥満

肥満の二つのタイプ

(1) 内臓脂肪型肥満

内臓の周囲に脂肪がつく肥満

別名、上半身肥満、リンゴ型肥満

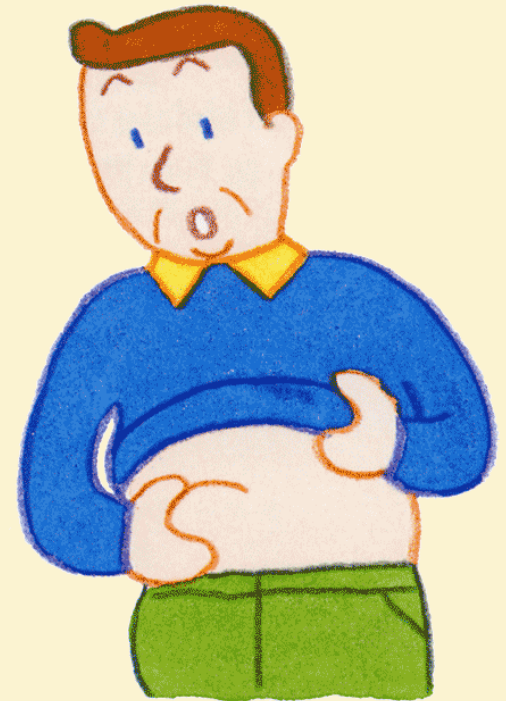
多くの生活習慣病の発病や、動脈硬化の進行と密接に関係している

体型からはわからないことがある

(2) 皮下脂肪型肥満

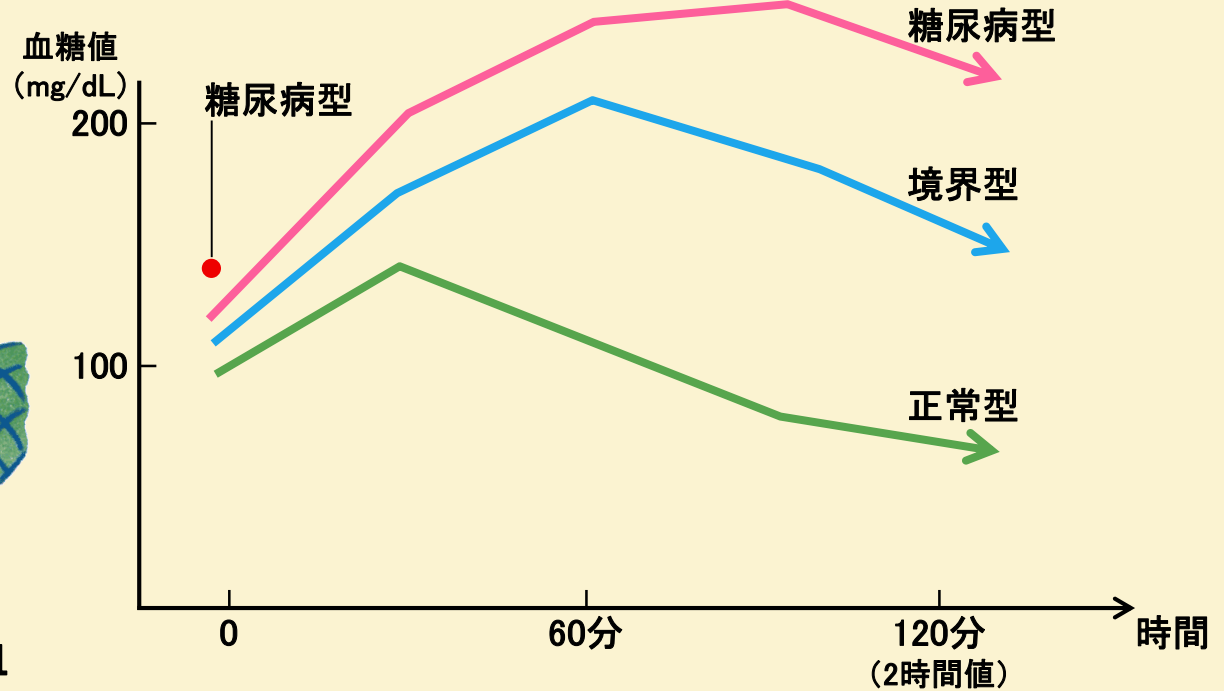
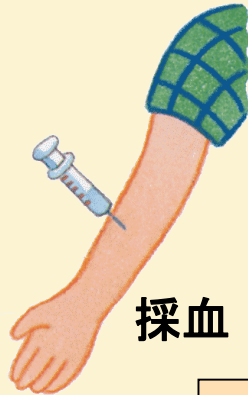
全身の皮下組織に脂肪がつく肥満

別名、下半身肥満、洋ナシ型肥満



12. 75g経口ブドウ糖負荷試験

糖尿病の診断を 確定するための 検査



	血糖測定時間			判定区分
	空腹時		負荷後2時間	
グルコース 濃度 (静脈血漿)	126mg/dL以上	または	200mg/dL以上	糖尿病型
	糖尿病型にも正常型にも属さないもの			境界型
	110mg/dL未満	および	140mg/dL未満	正常型

13. 分食

食前と食後の血糖値の変動幅を
少なくするための食事のとり方

